

## 衆院本会議 志位氏代表質問

志位和夫委員長は6日の衆院代表質問で、「国葬」強行、沖縄・辺野古新基地建設、新型コロナ対策で岸田首相を追及。首相は質問の中心点に一切答えられず、政権行き詰まりが浮き彫りになりました。

### 「国葬」強行

## 敬意と弔意強制 憲法違反は明らか

志位氏は、「国葬」を強行したことに抗議。反省を求めたのに対し首相は、批判を「真摯に受け止め」「検証を行う」と述べました。

首相が「国葬」を「故人に対する敬意と弔意を国全体として表す儀式」と定義したことに対し、志位氏は、「国の主権者は国民。『国全

体として』とは『国民全体として』となる」と強調。「『国葬』実施は敬意と弔意の強制になり、憲法19条の『思想及び良心の自由』の侵害になることは明瞭」と迫りました。首相は「指摘は当たらない」と強弁。「国葬」が憲法違反だとの認識は一切示しませんでした。



衆院本会議。質問しているのは志位氏 = 6日

## 辺野古新基地反対

## 沖縄知事選で明確な審判

「オール沖縄」の玉城デニー知事が自公推薦候補に圧勝した沖縄県知事選挙。志位氏は「民意をどう受け止めるか」と首相をただしました。しかし首相は「辺野古移設が唯一の解決策」と繰り返し、県民の選択には全く触れませんでした。知事選での「オール沖縄」候補の勝利は3回連続。辺野古新基地建設中止、普天間基地閉鎖・撤去に踏み出すべきです。

## 新型コロナ対応

## 医療体制の抜本的強化を

「第7波」による死者は1万3千人を超え最悪に。そのうえ政府は今後、発熱外来の受診対象を高齢者や基礎疾患のある人、子ども、妊婦に絞り、それ以外の患者は自己検査と自宅療養を求めようとしています。志位氏は医療へのアクセスを制限する制度改変ではなく、「医療供給体制を抜本的に強化・拡充することこそ政治の責任」と厳しく追及しました。

## 参院 小池書記局長が代表質問

## 戦争の危険呼び込む軍事力強化でなく 憲法9条生かした外交努力こそ



代表質問する小池書記局長  
長 7日 参院本会議

小池晃書記局長は7日の参院代表質問で、東アジアの軍事的緊張が高まる中、岸田政権が米国と足並みをそろえて進める大軍拡を批判しました。

小池氏が来年度の防衛省概算要求は「敵基地攻撃予算」と呼ぶべきもので、同能力の中心となる長射程巡航ミサイルは1000発以上の保有の検討が報じられていることを指摘しました。これに岸田首相は「あらゆる選択肢を排除せず、防衛力を抜本的に強化していく」と答弁。小池氏は「地域の緊張を高める軍事力強化ではなく、憲法9条を生かした平和外交こそ必要だ」と求めました。